



幅広い世代の来場者が展示を体験



西菱電機

万博で「未来の防災体験」展示

西菱電機は大阪・関西万博内の未来の暮らしが体験できるフューチャーライフ万博「フューチャーライフエクスperiエンス」で「未来の防災体験」をテーマに展示を行った。展示期間は1週間。大人から子どもたちなど幅広い世代が来場し、約2500人が災害時ににおける未来の防災、減災の在り方を大スクリーンで疑似体験した。

コンテンツは同社がこれまで培ってきた防災・減災技術を結集し、同社が考える10年後の防災技術を表現。社内の各部署から集まったプロジェクトメンバーが議論を重ね動画を仕上げた。監修は防災まちづくり、防災教育などを専門とする立命館大学政策科学部の豊田祐輔准教授。

展示場所は会場西側にあるフューチャーライフヴィレッジ。動画は地震発生から避難行動までを描いた一人称視点の作品。ドーム型の大型シアターを用意し臨場感あふれるものに仕上げた。

地震発生時、物語内に登場する主人公は自宅内。動画では地震から身を守る最適な方法を選ぶなど選択肢を三つ用意。来場者が周りと相談しながら選択肢を選び、物語を進めるインタラクティブなコンテンツ。動画中、スマートデバイスが「身を守る行動」「避難場所」をアドバイス

選択肢を選び自宅から避難

今回展示した動画コンテンツは、同社の大阪・関西万博特設サイトでも確認することが可能だ。会場を訪れた西岡伸明会長は「当社は1970年の大阪万博で無線通信システムの保守・運営を担当した。今回の動画では社員がエキストラとして登場しているが、コンテンツはよくできている。最後には来場者が拍手していた。未来の防災を体験してもらえた」と語った。

スする未来の姿も描かれている。また、街灯の色で危険を知らせ、全ての人を安全に誘導するリスクライトシステムなど未来の防災設備も登場する。